

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立船場生涯学習センター
指定管理者名	国立大学法人大阪大学
開催日	令和6年（2024年）12月24日（火）午前10時から12時
開催場所	箕面市立中央生涯学習センター 2階 講義室
合議の出席者	箕面市美術協会 九後 稔 氏 みのお剪画倶楽部 竹村 健喜 氏 ハングル箕面 田向 正宣 氏 摘み草コーラス 山崎 久子 氏 愛唱会 松谷 知世 氏 箕面市国際交流協会 大野友アンドレイア 氏

【概要】別添のとおり

<p>内容</p>	<p>令和6年（2024年）12月24日（火）に箕面市立中央生涯学習センター2階講義室にて、指定管理者にかかる合議を実施いたしました。その中で、合議メンバーより以下のような意見や質疑がありました。</p> <p>1) ご意見および質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の稼働率が全体的に低いが、その要因をどのように分析しているか。また、北大阪急行の延伸が遅れた影響もあり、利用者の増加が見込めなかったと考えられるが、今後の周知やPRの取り組みについてどのように考えているか。 <p>（説明）</p> <p>施設の認知度が十分に高まっていないことや、アクセスの不便さが主な要因であり、特にバスや駅の開業前は利用率に影響を与えていたと考えている。また、周辺が商業地域で住宅地が少ないことも利用者数の伸び悩みの一因である。</p> <p>本年3月の駅開業後、各所へ利用案内を配布し、若干ながらも稼働率は向上しており、おおよそ10%向上している。今後、周辺地域のマンション建設に伴い、利用ニーズの増加が期待される。施設の稼働率向上は課題であり、自治会へのパンフレット配布やSNSの活用など、引き続き認知度向上に向けた取り組みを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語教室や語学講座で施設を利用しているが、非常時に使用できる階段がなく、日本語が十分に理解できない参加者にとって避難が難しい状況である。また、語学講座の講師の中には、エレベーターを使わずに階段を利用したいという要望があるが、現状では常時開放されていない。これについてどのように対応しているか。 <p>（説明）</p> <p>非常時には階段を使用できるようになっているが、安全管理上の理由から、常時開放はされていない状況である。今後の運用については、安全性を優先しつつ、利用者の利便性向上の観点も念頭に検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設内の階段の設置状況について、通常時に利用可能なものはあるのか。また、非常階段の位置はどこにあるのか。 <p>（説明）</p> <p>非常階段は1か所設置されているが、通常時は鍵がかかっており、利用できない。非常階段は図書館の横に位置しており、通行時には図書館を通ることになる。また、エレベーターのすぐ横ではなく、やや離れた場所に設置されている。現状では、非常時やエレベーターが停止した場合のみ使用可能と</p>
-----------	--

なっているが、利用者からの要望も寄せられているため、今後の運用については検討したい。

- 今後、施設全体での避難訓練や消防訓練の実施予定はあるのか。また、全員での参加が難しくても、一部の関係者が参加し、避難経路などを把握できる機会があると良いと考えている。特に、図書館内で子どもの学習支援が行われているため、安全確保の観点からも参加を希望しているが、対応は可能か。

(説明)

消防訓練は年に2回、施設全体で実施しており、図書館、文化芸能劇場や駐車場も対象となっている。防災センターが訓練を主催しており、参加の希望については防災センターと共有し、対応を検討する。

- コロナ禍でサークル活動が制限されていた可能性もあるが、学生の施設利用は本来もっと可能ではないか。減免措置の有無や、学生への周知不足による利用率の低さについて、どのように対応しているか。

(説明)

大学公認の課外活動団体には減免措置を適用しているが、一般の学生は通常の利用料金を支払う形となっている。施設の認知度が十分に高まっておらず、利用方法が周知されていないことも課題であるため、今後は情報発信を強化し、利用促進と稼働率の向上を図る。

その他、指定管理者制度の運用や委託料の決定方法、備品購入・改修の意思決定の流れに関する質問があった。

2) 総評

利用者アンケートの結果、多くの項目において9割以上の利用者が「満足」または「概ね満足」と回答しており、特に施設の清潔さ、美観、スタッフ対応に関しては高評価を得ている。また、今後も利用したいと回答した利用者が大多数を占めており、施設の運営が概ね良好であることが確認できる。

一方で、施設の認知度向上や利用促進の観点から、情報発信の強化が求められると考えられる。

指定管理者は、これまでの良好な運営を継続しつつ、利用者の意見を踏まえた改善を進めることが期待される。市としても、施設の管理運営が円滑に行われていると評価し、引き続き利用者満足度の向上に向けた取り組みを支援していきたい。